

キャッチフレーズ・体系図・推進体制図の再検討について

1 目指す姿～キャッチフレーズ～

(1) 事務局案

○従前からのコンセプトの踏襲

目指す姿「より良い環境に恵まれた持続可能な社会」

* 普遍的な内容・表現として、そのまま継承する。

○今回の新たな視点

副題（キャッチフレーズ）の付記

* 県民の共感（わかりやすさ・親しみやすさ）を得る工夫として付記する。

案1：守ろう！つなごう！岡山の環境

案2：みんなで目指そう！よりえーおかやま

案3：エコの国おかやまの実現

案4：みんなで守る！創る！つなぐ！岡山の環境

案5：岡山の環境 守って、創って、つなげよう

(2) 委員意見

- ・ 全国どこにでも当てはまるようなフレーズで、岡山らしさが無い。
- ・ 抽象的な表現で、目指す姿の具体的なイメージが湧かない。

(3) 再検討のポイント

- ・ キャッチフレーズを付記する趣旨（狙い）を今一度整理し、明確にする。
→ 趣旨（狙い）に応じた案を検討する。
- ・ 前提として、計画の性格を踏まえる必要があることに留意する。
「環境の保全に関する施策の総合的・計画的な推進を図る」ための計画
→ 一点のみにフォーカスした内容・表現は適当ではない。

<趣旨①> まずは当事者意識の喚起・・・前回事務局案

- ・ 県民“みんなで”環境の取組を進める、という意識を喚起する。
- ・ 計画そのもの、環境の取組そのものへの県民の関心を喚起する。

↓

- ✓ 平易なことばで誰にも受け入れてもらいやすく
- ✓ 短いフレーズで印象に残してもらえよう
- ✓ 呼びかけ調で自分事として捉えてもらえよう

<趣旨②> より具体のイメージを付与

- ・ 岡山らしさ（岡山ならではの姿）を強調して伝える。
- ・ より具体的なイメージが想起されるような表現にする。

↓

- ✓ 岡山の地域特性、岡山の誇る自然環境などピックアップ
(ただし偏り過ぎないように)
- ✓ 字数にこだわらず具体的に表現
(ただし、「目指す姿の具体的なイメージ」と重複しないよう)

(4) 修正案の検討

<趣旨①> を主とする場合
前回提示の案をベースに修正を加えた案

A 案

より良い環境に恵まれた持続可能な社会

多彩で豊かな環境！

わたしたちの岡山を 次世代へ

<趣旨②> を主とする場合
一点にフォーカスせず、広く環境全般について具体的に表現する案

B 案

より良い環境に恵まれた持続可能な社会

山から海まで

いろとりどりの環境に恵まれた

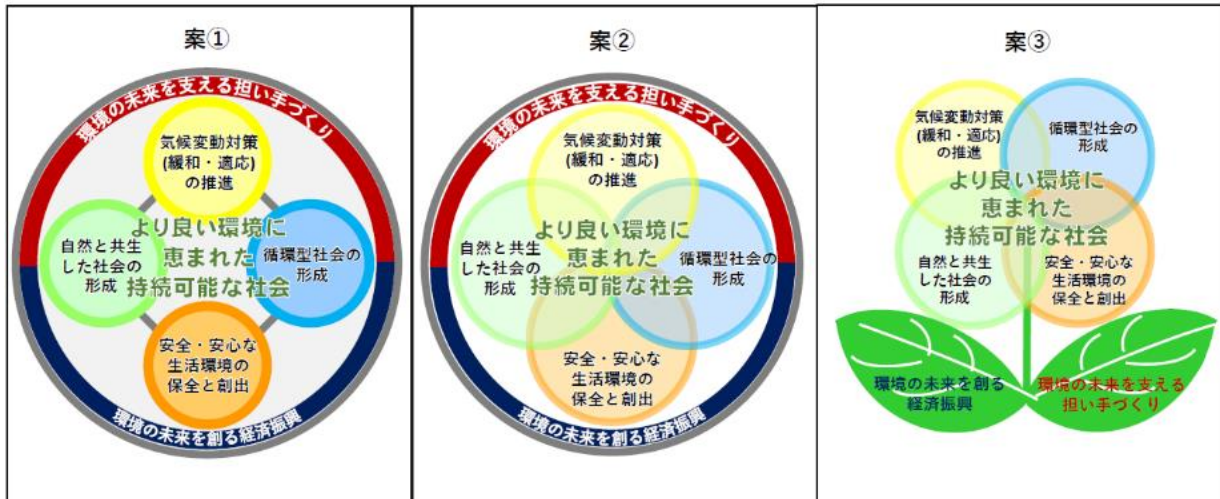
暮らしやすい岡山を 次世代へ

2 体系図

(1) 事務局案

- ・ 現行の体系図は、4つの柱がそれぞれ独立しているように見える。
- ・ 実際にはいずれも相互に関連し合っており、それが伝わるような絵柄にしてほしい。

上記の委員意見を踏まえ、3案を提示



(2) 委員意見

- ・ 県の基本的な姿勢が分かるような体系図が良い。
- ・ 案①②は見にくいし、案③は“自然環境”のイメージが強すぎる。
- ・ 色使いも考えた方が良い。案の配色は、ぼやけて見える。
- ・ 言葉（文字）はポイント部分のみに短くして強調した方が分かりやすい。
- ・ 「基本目標」と「横断的な視点」の意図するところ（説明）を少し添えた方が良い。

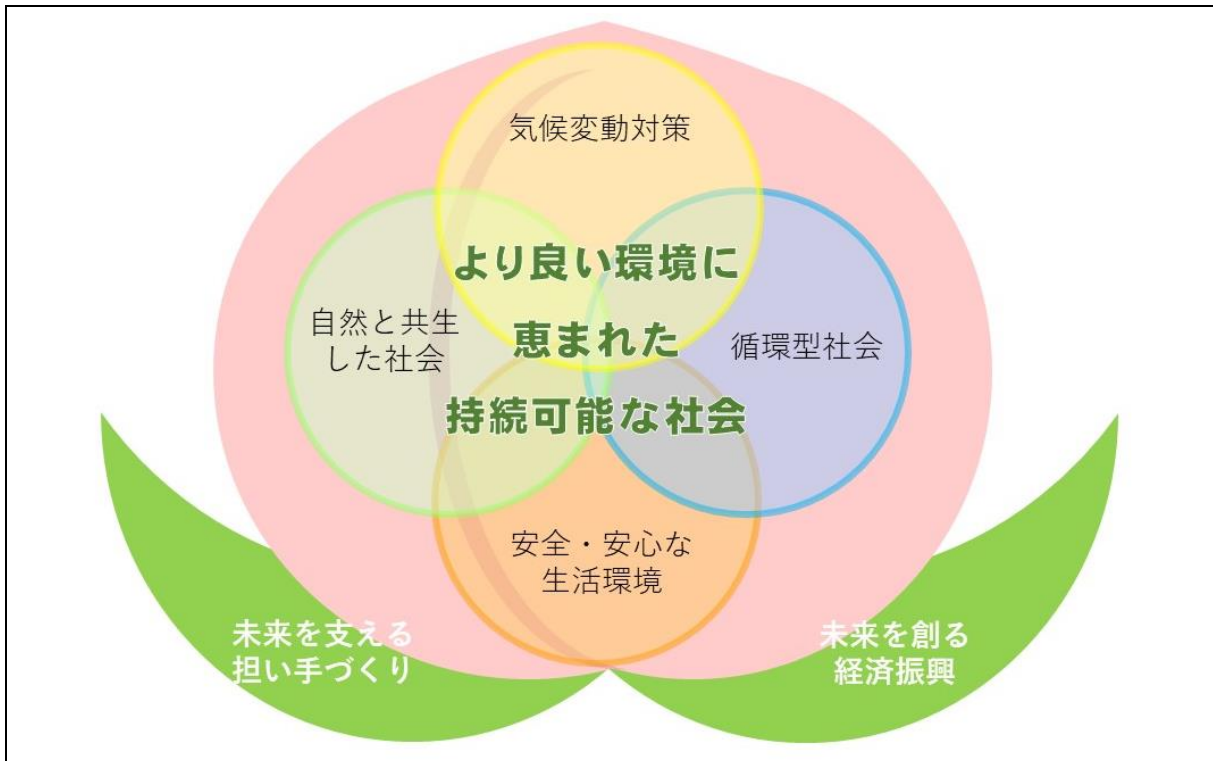
(3) 再検討のポイント

- ・ コンパクトな図柄、マーク的な図柄にこだわらず
- ・ 計画の体系や、ベースにある県の姿勢や考え方を
- ・ できるだけ分かりやすく、見やすく 図示したものに工夫する。

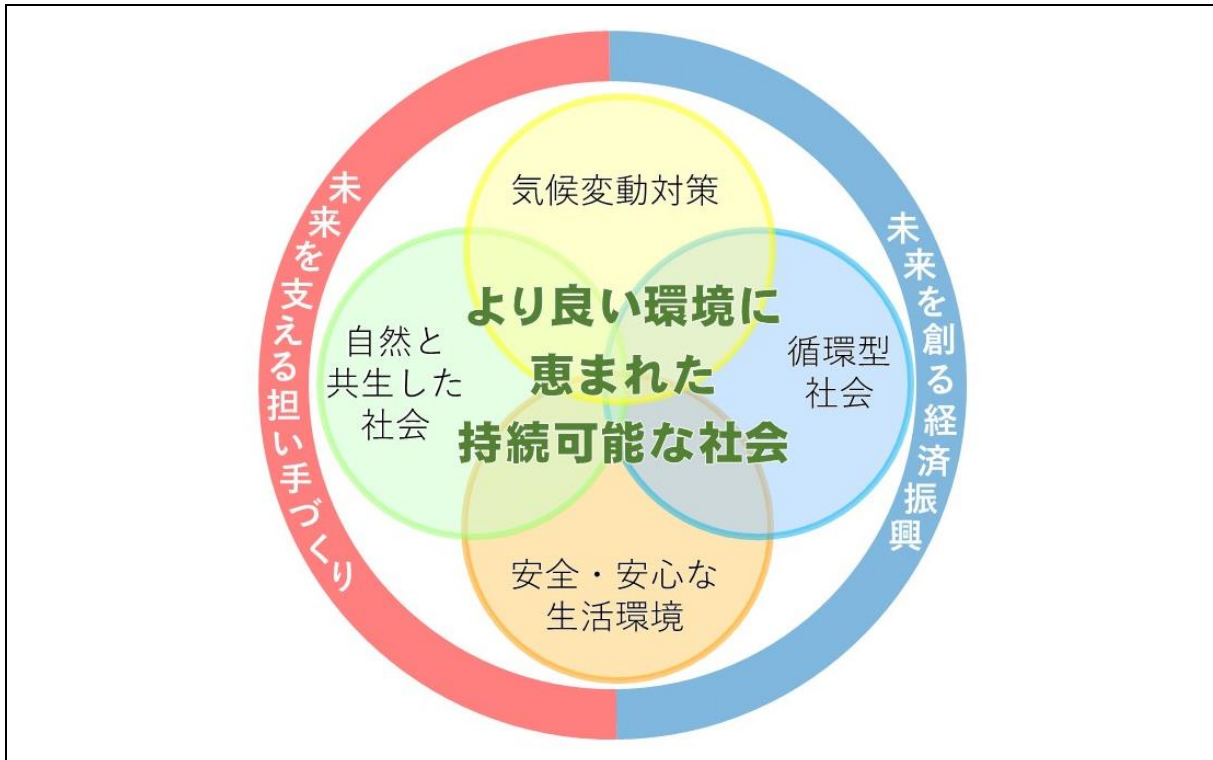
(4) 修正案の検討

次ページのとおり

案①



案②



案③



案④



案⑤



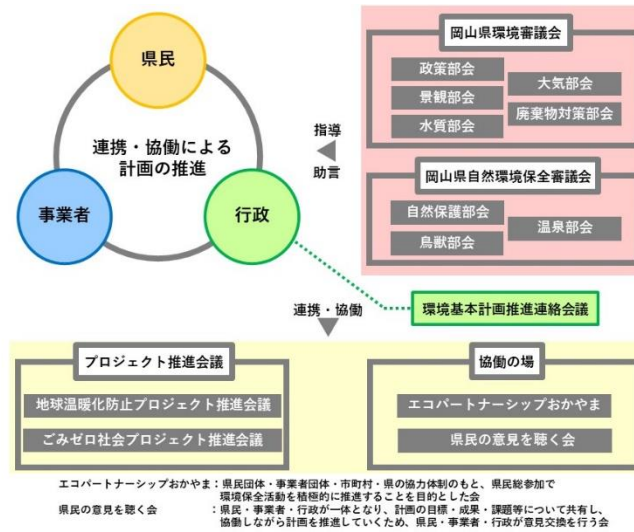
案⑥



3 推進体制図

(1) 事務局案

- ・ 現行計画をベースに、「連携・協働」の重要性等を分かりやすく提示



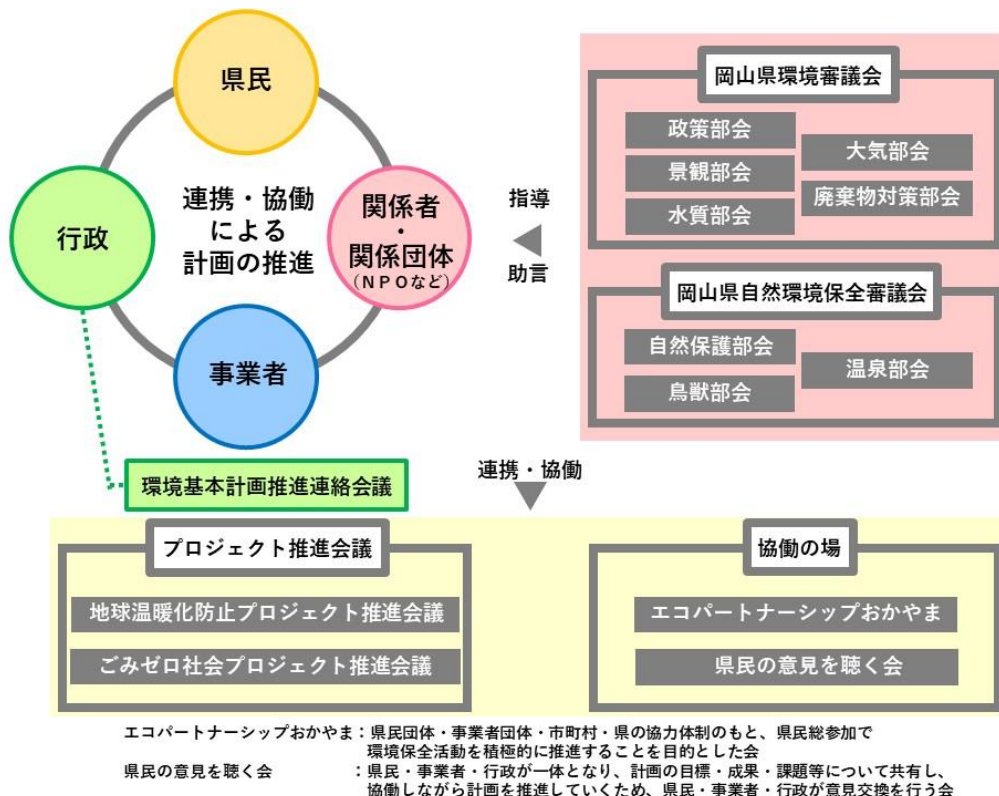
(2) 委員意見

- ・ 国の環境基本計画では、民間団体を主体として挙げている。
- ・ 本計画でも文章中に出てくるため、図案にも含めたほうが良い。

(3) 再検討のポイント

- ・ 「連携・協働による計画の推進」に「関係者・関係団体」を追加

(4) 修正案の検討



4 参考

計画の全体像

第1章 基本的事項

○計画の目的と位置づけ ○計画の期間 ○計画の構成

第2章 環境を取り巻く情勢と課題

○世界の情勢と課題 ○国内の現状と課題 ○県内の現状と課題

第3章 目指す姿

○目指す将来の姿 ○目指す姿の具体的なイメージ

第4章 具体的な取組

○基本目標<4つの柱>
・気候変動対策(緩和・適応)の推進
・循環型社会の形成
・安全・安心な生活環境の保全と創出
・自然と共生した社会の形成

○横断的な視点<2つの柱>
・環境の未来を支える担い手づくり
・環境の未来を創る経済振興

※柱ごとに重点プログラムと指標を位置づけ

第5章 計画の進め方

○推進体制 ○取組の内容に応じた実施方法等の工夫

参考資料

- ・重点プログラム・指標一覧
- ・計画のこれまでの歩み
- ・計画の策定経過
- ・環境に関する県民等意識調査の概要
- ・関連条例・関連計画
- ・岡山県環境基本条例